

ごみ処理基本計画の進行管理(平成24年度実績)

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

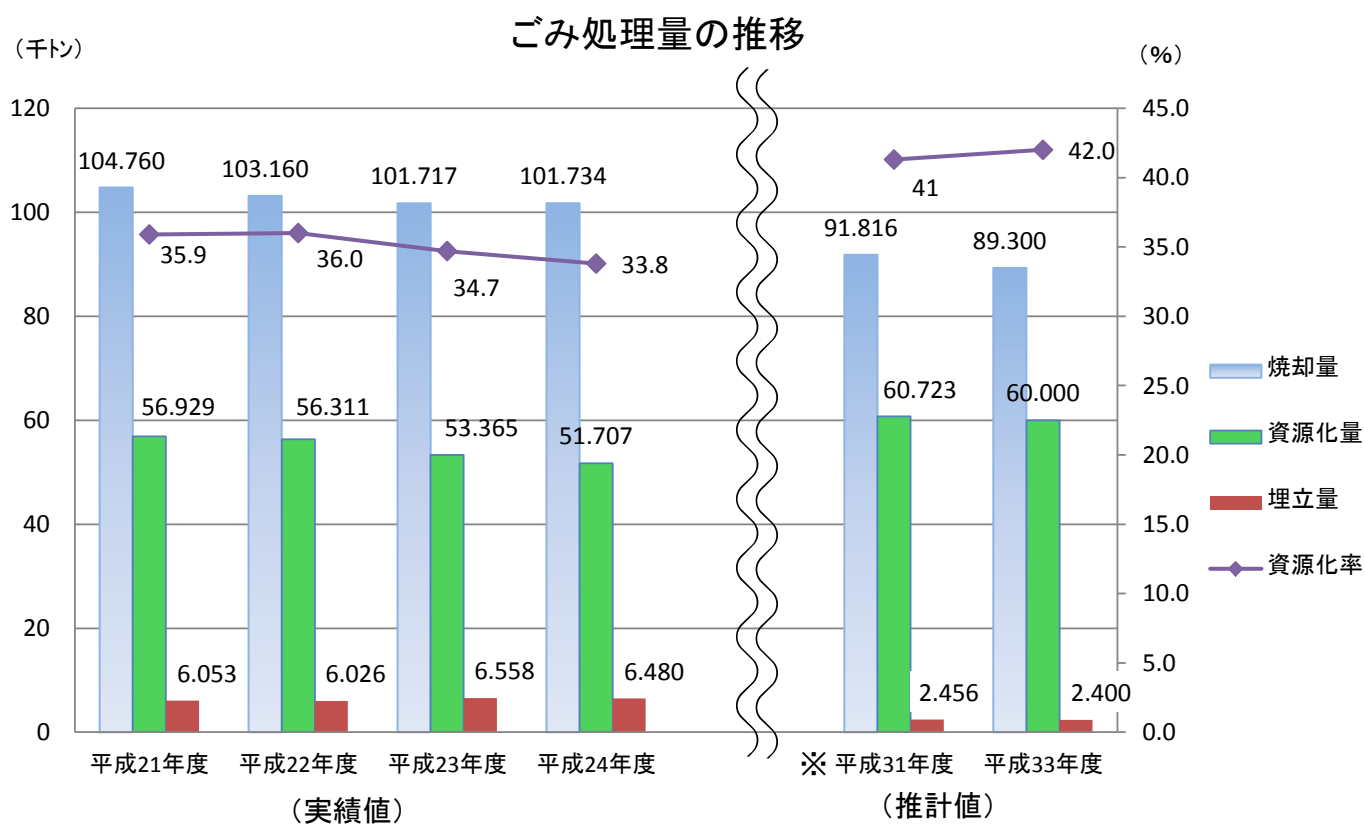
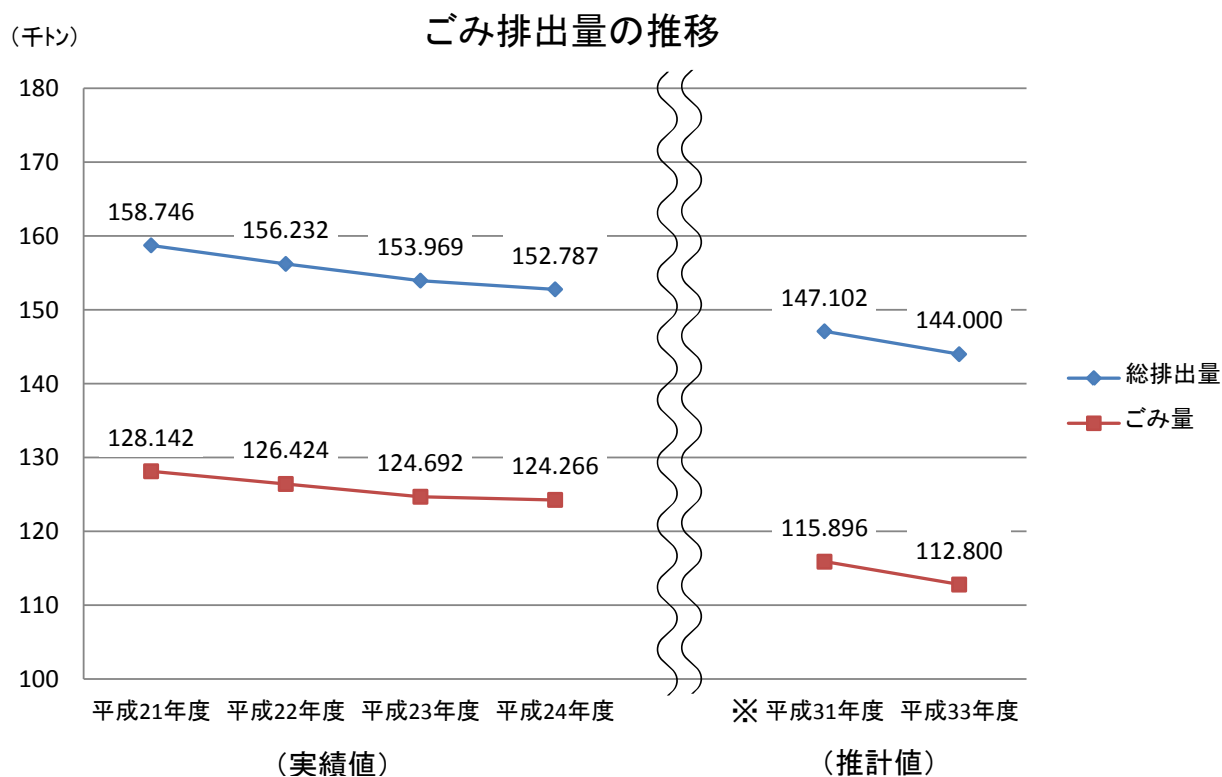
— 未来へつなぐ“循環型都市よこすか”の創造 —

資源循環部 資源循環総務課

平成26年 1月

ごみ処理基本計画の評価指標および実績値・目標値

項 目		単 位	平成21年度 (基準年度)	平成23年度	平成24年度	平成33年度 (目標年度)	
循環型 社会 形成	排出量	総排出量	t/年	158,746	153,969	152,787	144,000
		ごみ量	t/年	128,142	124,692	124,266	112,800
		集団資源回収量	t/年	30,604	29,277	28,521	31,200
		1人1日排出量 注1)	g/人・日	822	804	800	793
		1人1日総排出量 注1) 集団回収を含む	g/人・日	1,018	992	984	1,012
	処理量	焼却量 (焼却率)	t/年 (%)	104,760 (81.8%)	101,717 (81.6%)	101,734 (81.9%)	89,300 (79%)
		埋立量 (埋立処分率)	t/年 (%)	6,053 (4.7%)	6,558 (5.3%)	6,480 (5.2%)	2,400 (2%)
		資源化量	t/年	56,929	53,365	51,707	60,000
	資源化率	資源化率	%	35.9%	34.7%	33.8%	42%
	経 済 性	注2) 処理単価	総処理経費	円/t	36,591 (48,023)	49,991	49,824
収集経費			円/t	23,563 (26,589)	27,350	26,328	—
中間処理経費			円/t	15,351 (23,186)	24,217	25,093	—
最終処分(埋立)経費			円/t	54,115 (84,959)	81,629	76,767	—
資源化経費			円/t	25,665 (25,665)	28,169	28,769	—
1人当たり年間処理経費			円/人・年	13,602 (14,410)	14,706	14,713	—
【参考】	* 住民基本台帳人口 注3 * 将来推計人口	人	427,049 430,331	423,864 425,411	425,343 422,648	— 390,106	
注1) 1人1日排出量の実績は、ごみ量及び総排出量を住民基本台帳人口で除し、目標年度(平成33年度)は横須賀市の将来推計人口で除して算出している。							
注2) 基準年度(平成21年度)かっこ内、及び平成23-24年度の処理単価は、神奈川県一般廃棄物処理実績報告の作成基準に基づき算出した。							
注3) 住民基本台帳人口は法改正により24年度から外国人住民を含む。							



※ 平成31年度は、新ごみ処理施設の稼働予定年度

ごみ処理基本計画 関連施策・事業等の実施状況

(1) 計画の内容			(2) 取り組み実績		
施策種別	取り組み内容	記載頁	平成21年度(基準年)	平成23年度(計画初年度)	
(第1章)基本理念・基本方針 4 重点施策	①ごみ処理広域化計画による施設整備の推進 6				
	②廃プラスチック等の焼却による熱回収	29	ごみ処理広域化に向けての基本的な方向性を示すため、平成21年3月「横須賀市三浦市ごみ処理広域化基本計画」策定	新たなごみ処理施設整備に向けて、平成21年3月に策定した「横須賀市三浦市ごみ処理広域化基本計画」に基づき建設計画を推進	
	③不燃ごみ等からの金属回収	29			
	②継続的な減量化・資源化啓発事業の実施 6				
	①市民・事業者への分別啓発	28	集団資源回収量 30,604トン	集団資源回収量 29,277トン	
	③植木剪定枝等新規資源化策の実施 6				
	④植木剪定枝の資源化	29	—	具体的な検討事項・検討方法をまとめ、他市の実施状況等を調査	
	⑤新たな資源化策の検討	30	—	新規資源化策の進め方をまとめ	
	(第4章)ごみの発生・排出抑制のための方策 4 その他、市が講ずべき方策	市が講ずべき主な方策			
		①発生抑制に関する啓発	33	(第4章4(1)に記載)	(第4章4(1)に記載)
②生ごみ等処理機器の購入費補助		33	電気式生ごみ処理機 529基、EM処理容器 52基、コンポスト容器 139基、小枝粉碎機 78基	電気式生ごみ処理機 67基、EM処理容器 8基、コンポスト容器 18基、小枝粉碎機 20基	
③国等への働きかけ(促進施策)		33	デポジット制度導入等について要望	リターナブル容器普及拡大について要望	
市が講ずべき主な方策					
①再生家具の提供		33	228個提供	249個提供	
②国等への働きかけ(促進施策)		33	リターナブル容器普及拡大について要望	リターナブル容器普及拡大について要望	
市が講ずべき主な方策					
①庁舎内等におけるごみの減量化・資源化		34	古紙リサイクル 166,760kg、廃蛍光管5,360本	古紙リサイクル 179,230kg、廃蛍光管4,760本	
①グリーン購入の推進		34	対象品目17分野71品目で集計し、15分野34品目で90%以上を達成	対象品目18分野95品目で集計し、14分野42品目で90%以上を達成	
①公共工事等における再生資源等の使用	34				
②国等への働きかけ(促進施策)	34	廃プラスチックのリサイクル制度等について要望	廃プラスチックのリサイクル制度等について要望		
(1) 主な周知・啓発事業					
①ごみ教室の開催、啓発冊子の発行	35	子どもごみ教室24回(1,309人)、啓発冊子5,000部作製	子どもごみ教室20回(999人)、啓発冊子5,000部作製		
②ごみ分別パンフレットや収集カレンダーの発行	35	分別収集カレンダー221,000部作製、パンフレット50,000部増刷	分別収集カレンダー221,000部作製、パンフレット25,000部増刷		
③広報紙やホームページによる周知啓発	35	広報よこすか11回20件、お知らせ版8回15件 HP「ごみデータinよこすか」の更新(毎月)	広報よこすか12回33件、お知らせ版3回6件 HP「ごみデータinよこすか」の更新(毎月)		
④ごみトークやごみ問題学習会の開催	35	ごみトーク36回(1,446人)、ごみ問題学習会6回(125人)	ごみトーク50回(2,135人)、ごみ問題学習会18回(391人)		
⑤アィクルフェアなどイベントの開催	35	アィクルフェアの開催 3回(12,900人)、クリーンよこすか市民のつどい 6月(747人)、中央会議 11月(557人)に実施	アィクルフェアの開催 3回(10,500人)、クリーンよこすか市民のつどい 6月(588人)、中央会議 11月(664人)に実施		
⑥市民協働による啓発活動(クリーンよこすか市民の会、ごみダイエット推進員、アィクル・マイスター)	35	ダイエット推進員研修会11回(244人)、施設見学会9回(117人)、アィクル・マイスター定例会 12回(67人)、施設見学会 1回(5人)、ポイ捨て防止街頭キャンペーン(326人)	ごみダイエット推進員研修会11回(253人)、施設見学会9回(120人)、アィクル・マイスター定例会 12回(44人)、イベント参加4回(14人)、ポイ捨て防止街頭キャンペーン(310人)		
⑦アィクル施設見学による分別排出の周知	35	182団体(11,578人)	137団体(8,663人)		
⑧南処理工場施設見学による適正処理の周知	35	29団体(1,639人)	31団体(1,683人)		
⑨多量排出事業者に対する指導	35	減量化・資源化指導 204件	減量化・資源化指導 213件		
⑩集積所における排出指導	35	市民等への分別排出指導 654件、ごみ集積所の新設・移設等 302件、ごみ収納ボックス 360台・カラス除けネット 2,200枚 配布	市民等への分別排出指導 473件、ごみ集積所の新設・移設等 334件、ごみ収納ボックス 446台・カラス除けネット 2,422枚 配付		

(注) 評価基準 ○:実施している又は実施した。 △:一部実施している又は一部実施した。 ×:実施していない。

平成24年度		(3) 評価	
新たなごみ処理施設整備に向けて、平成21年3月に策定した「横須賀市三浦市ごみ処理広域化基本計画」平成24年度に策定した「横須賀ごみ処理施設整備実施計画」に基づき建設計画を推進	○	予定通り実施	熱回収及び金属回収は施設稼働後に行われるものであるが、当該施設建設に向けて業務を推進した。
集団資源回収量 28,521トン	○	予定通り実施	分別排出の徹底と資源化の推進を周知啓発しているが、集団資源回収量はごみ排出量全体と同様に減少傾向を示している。
資源化事業者ヒアリングを実施	△	今後へ向けた調査・検討を実施	調査・検討の結果を踏まえ、使用済小型家電リサイクル事業については早期に検討していく。
使用済小型電子機器等のリサイクル制度について情報収集。廃蛍光管のイベント回収を実施(スタート)	○		
(第4章4(1)に記載)	○	予定通り、継続して実施	ごみを出さない生活スタイルを紹介するなど、ごみの発生抑制について啓発を行った。
電気式生ごみ処理機 104基、EM処理容器 15基、コンポスト容器 31基、小枝粉碎機 12基	○	予定通り、継続して実施	各生ごみ等処理機器の購入費補助を継続して実施した。
リターナブル容器普及拡大について要望	△	予定通り実施	全都清などを通じ、要望を行ったが、未実現
197個提供	○	予定通り、継続して実施	アイクルフェアで提供しているが、再生できる粗大ごみの家具が減少傾向にある。
リターナブル容器普及拡大について要望	△	予定通り実施	全都清などを通じ、要望を行ったが、未実現
古紙リサイクル 159,460kg、廃蛍光管5,026本	○	予定通り、継続して実施	古紙の他、新聞・段ボールを売却するなどの資源化に努めている。
対象品目18分野95品目で集計し、9分野41品目で90%以上を達成	○	予定通り実施	グリーン購入法に基づく「横須賀市グリーン購入調達方針」において、毎年、対象品目や判断基準を見直し、全庁的にグリーン購入の推進に取り組んでいる。
廃プラスチックのリサイクル制度等について要望	△		
子どもごみ教室36回(1,680人)、啓発冊子5,000部作製	○	予定通り、継続して実施	個々の啓発事業ごとに、減量化・資源化効果を測定できるものではないが、随時必要な周知広報・啓発の結果が、排出量の減、高い資源化率との効果となっていると考える。
分別収集カレンダー221,000部作製、パンフレット25,000部増刷	○		
広報よこすか12回41件 HP「ごみデータinよこすか」の更新(毎月)	○		
ごみトーク61回(2,426人)、ごみ問題学習会13回(270人)	○		
アイクルフェアの開催 3回(7,900人)、クリーンよこすか市民のつどい 6月(1121人)、中央会議 11月(622人)に実施	○		
ごみダイエット推進員研修会11回(210人)、施設見学会3回(52人)、アイクル・マイスター定例会 12回(42人)、イベント参加4回(14人)、ポイ捨て防止街頭キャンペーン(305人)	○		
129団体(9,310人) うち、小学生のリサイクル学習 45校 3,245人	○		
42団体(1,678人)	○		
減量化・資源化指導 211件	○		
市民等への分別排出指導 420件、ごみ集積所の新設・移設等 254件、ごみ収納ボックス 499台・カラス除けネット 2,394枚 配付	○		

(1) 計画の内容			(2) 取り組み実績	
施策種別	取り組み内容	記載頁	平成21年度(基準年)	平成23年度(計画初年度)
4 その他、市が講ずべき方策 (第4章)	(2) その他の関連施策			
	① 新たな減量化・資源化策の研究	35	(第1章4③に同じ)	(第1章4③に同じ)
	② リサイクル法の周知・啓発	35	家電4品目拡大・家電指定取引所の運用変更等について周知・啓発を実施、容器包装リサイクル法概要をHPに掲載	パンフレット、HP掲載等による周知・啓発を継続実施
	③ 家庭ごみの有料化の検討	35	横須賀市の家庭ごみ有料化導入について案をとりまとめた。	家庭ごみの有料化を実施している全国自治体数の調査
(第5章) 分別収集区分と資源化・適正処理	1 分別して収集するごみの種類と分別区分			
	ごみの種類・分別区分と排出方法	36	表5-1-1「ごみの種類・分別区分と排出方法等」に同じ	表5-1-1「ごみの種類・分別区分と排出方法等」に同じ
	2 (1) 収集・運搬計画			
	① 収集区域	37	行政区域内の全域(直営42.7%、委託57.3%)	行政区域内の全域(直営42.8%、委託57.2%)
	② 分別区分ごとの収集方法・回数	37	表5-2-1「収集方法・回数等」に同じ	表5-2-1「収集方法・回数等」に同じ
	③ 収集運搬車両の低公害車使用	38	天然ガス自動車 27台 ハイブリッド車 0台	天然ガス自動車 26台 ハイブリッド車 0台
	④ 事業系ごみの取り扱い	38	減量化等計画書の提出 201件	減量化等計画書の提出 213件
	2 (2) 中間処理計画			
	① 再資源化施設(リサイクルプラザ“アイクル”)	38	搬入量 22,589トン 資源化量 21,861トン	搬入量 21,678トン 資源化量 21,142トン
	② 焼却施設(南処理工場)	38-39	搬入量 104,760トン 焼却量 98,735トン	搬入量 101,717トン 焼却量 94,864トン
	③ 粗大ごみ処理施設	39	搬入量 3,133トン 処理量 3,116トン	搬入量 3,306トン 処理量 3,299トン
	④ 不燃ごみ減容固化施設	39	搬入量 6,141トン 処理量 6,053トン	搬入量 6,506トン 処理量 6,558トン
	⑤ その他民間施設での中間処理・再資源化	39	使用済み乾電池 108トン 集団資源回収品目(プラザ搬入分を除く) 24,911トン	使用済み乾電池 110トン 集団資源回収品目(プラザ搬入分を除く) 23,770トン
	⑥ 今後の予定	39	—	—
	2 (3) 最終処分計画			
	最終処分場	40	埋立量 6,053トン 破砕不適物処理 48トン	埋立量 6,558トン 破砕不適物処理 46トン
	3 ごみ処理施設の整備			
	(1)⑤ 現行の処理施設(長寿命化・延命化対策)	42	・南処理工場:1号炉廃熱ボイラーパス部補修等 ・リサイクルプラザ:自動倉庫計算機システム更新	・南処理工場:3号炉廃熱ボイラーパス部補修等 ・リサイクルプラザ:自動倉庫コンテナ底板溶接補修繕(30基)等
	(2)①ア 広域処理施設(焼却施設)	42	横須賀三浦ブロックごみ処理広域化実施計画策定(県提出)、神奈川県横須賀・三浦地域循環型社会形成推進地域計画(国提出、承認)、建設計画地(長坂地区)を公表し説明会実施	・ごみ処理施設建設に向けた環境影響予測評価(環境アセスメント)実施計画書、施設整備基本計画の作成や測量、活断層調査等業務の実施 ・「横須賀市新ごみ処理施設建設計画対策協議会」と建設計画について協議の実施 ・地元町内会を対象とした説明会の実施
	(2)①イ 広域処理施設(不燃ごみ等選別施設)	42		

平成24年度		(3) 評価	
(第1章4③に同じ)	○	今後へ向けた調査・検討を実施	(第1章4③に同じ)
パンフレット、HP掲載等による周知・啓発を継続実施	○	予定通り実施	法・制度改正について、随時情報収集、周知を行った。
全国自治体の有料化導入状況の調査、県内で導入を検討している自治体の情報収集	△	今後へ向けた調査・検討を実施	ごみの排出量の傾向及び新処理施設整備から、当面導入の検討予定はないが、将来的に必要性を判断していく。
表5-1-1「ごみの種類・分別区分と排出方法等」に同じ	○	予定通り実施	廃プラスチックの焼却に伴い、分別区分の「燃せるごみ」への変更について検討した。
行政区域内の全域(直営37.3%、委託62.7%) 委託収集区域を13地区から14地区に拡大	○	予定通り実施	平成24年9月に定日ごみ収集委託区域の拡大を行った。
表5-2-1「収集方法・回数等」に同じ	○	予定通り実施	市民の要望などを踏まえ、適正な収集方法・回数等を随時検討した。
天然ガス自動車 19台 ハイブリッド車 0台	○	予定通り実施	費用対効果やディーゼル車の環境性能の向上等を総合的に検討し、引き続きクリーンディーゼル車への更新を進めている。
減量化等計画書の提出 211件 事業系ごみ受入れ規制に向けて説明会20回実施した。	○	予定通り実施	多量廃排出事業者から、事業系一般廃棄物減量化等計画書及び実績書を受領し、廃棄物の適正処理について指導を行った。
搬入量 21,302トン 資源化量 20,836トン	○	予定通り実施	ごみの種類により、若干の増減はあるが、ごみ排出は全般的に減少傾向にある。
搬入量 101,734トン 焼却量 96,791トン	○		
搬入量 3,185トン 処理量 3,084トン	○		
搬入量 6,324トン 処理量 6,480トン	○		
使用済み乾電池 105トン 集団資源回収品目(プラザ搬入分を除く) 23,079トン	○		
—	△	今後へ向けた調査・検討を実施	広域処理施設整備計画の進捗に沿って、周辺関連施設・施策を検討した。
埋立量 6,480トン 破碎不適物処理 33トン	○	予定通り実施	平成23年度に引き続き不燃ごみ処分委託業者を1社から2社に増やしリスク回避を図った。
・南処理工場No.1ごみクレーン補修等 ・リサイクルプラザ:自動倉庫コンテナ底板溶接補修修繕(40基)等	○	予定通り実施	新ごみ処理施設の完成まで、適正処理を確保しつつ、長寿命化・延命化のための補修工事を実施した。
・ごみ処理施設建設に向けた環境影響予測評価(環境アセスメント)に伴う環境調査、施設整備実施計画の作成、新設道路の詳細設計及び土質調査等業務の実施 ・「横須賀市新ごみ処理施設建設計画対策協議会」と建設計画について協議の実施 ・町内会等を対象とした説明会の実施	○ ○	予定通り実施	建設工事の発注仕様書等の作成時の基礎資料とする施設整備実施計画を作成した。

(注) 評価基準 ○:実施している又は実施した。 △:一部実施している又は一部実施した。 ×:実施していない。

(1) 計画の内容			(2) 取り組み実績	
施策種別	取り組み内容	記載頁	平成21年度(基準年)	平成23年度(計画初年度)
(第6章) その他ごみ処理に関し必要な事項	1 廃棄物減量等推進審議会の運営			
	廃棄物減量等推進審議会の開催	45	第43回(基本計画改定諮問)、第44回(改定案1・2章審議)、第45回(改定案4章審議)	第51回(新ごみ処理施設整備の検討)、第52回(新ごみ処理施設建設計画、災害廃棄物処理)
	2 市民・事業者・市の協力体制			
	市民・事業者と協働の取り組み	45-46	<ul style="list-style-type: none"> 「レジ袋削減に向けた協定」(H20.10.29~23.3.31)の推進 「クリーンよこすか市民の会」と協働した清掃美化活動 	<ul style="list-style-type: none"> 「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」に賛同(H21.5.12~)し、レジ袋の削減を推進。 「クリーンよこすか市民の会」と協働した清掃美化活動
	3 ごみ処理基本計画の進行管理			
	計画の点検・評価・見直し	46	—	—
	4 家庭ごみの有料化			
	家庭ごみ有料化の検討	48	(第4章4(2)③に同じ)	(第4章4(2)③に同じ)
	5 災害時の廃棄物対策			
	災害時の廃棄物対策	49	—	<ul style="list-style-type: none"> 地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定(県産廃協) 地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定(一廃協、環事協、資源協、横須賀産廃協) 災害時における神奈川県内の市町村の相互応援に関する協定(県、県市長会、県町村会)
	6 その他一般廃棄物関連事項			
	(1) 不法投棄対策の強化	49	<ul style="list-style-type: none"> パネル展開催 9か所、警察との合同パトロールの実施 11回、ポスター掲出、移動式監視カメラ活用 巡回調査等 延べ38,918か所、処理量 101.07トン 	<ul style="list-style-type: none"> パネル展開催10箇所、警察との合同パトロール実施11回、ポスター掲出、移動式監視カメラの活用 巡回調査等 延べ30,543箇所、処理量73.45トン 地デジ化に伴いアナログテレビの不法投棄防止対策として夜間監視パトロールを実施(8日間) ごみ集積所及び不法投棄重点監視地域の夜間監視パトロールの実施 327箇所
	(2) ポイ捨て防止及び路上禁煙	49-50	<ul style="list-style-type: none"> 「駅周辺路上喫煙・ポイ捨て防止重点啓発事業」実施(市内21駅、8~2月) 巡回回数 443回 喫煙中止件数 1,920件 	<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ啓発キャンペーン(5月) 年末年始キャンペーン(12月) 巡回回数 247回 喫煙中止件数 744件
	(3) 海岸漂着ごみの円滑処理	50	・(財)かながわ海岸美化財団実施の海浜地清掃 271,192kg(ごみ等回収実績)	・(公財)かながわ海岸美化財団実施の海浜地清掃 212,125kg(ごみ等回収実績)
	(4) 適正処理困難物および排出禁止物	50	受入内規の見直し	受入内規の見直し(排出禁止物の追加品目の検討)
(5) 廃棄物処理に関する制度改善要望	50	8件(延べ12件)について、県・国に制度改善要望提出	7件(延べ12件)について、県・国に制度改善要望を提出	

平成24年度		(3) 評価	
第53回(新ごみ処理施設建設計画、災害廃棄物処理)	○	予定通り実施	審議会による審議、計画の進行管理・評価を、今後のごみ処理施策へ反映させていく。
「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」に賛同(H21.5.12~)し、レジ袋の削減を推進。 「クリーンよこすか市民の会」と協働した清掃美化活動。	○	予定通り実施	啓発活動を通じ、減量化・資源化、環境美化の実践につなげていく。
平成23年度実績を基に計画の点検・評価を実施	○	予定通り実施	前年度実績を基に実施し、計画の見直し時期を検討していく。
(第4章4(2)③に同じ)	△	今後へ向けた調査・検討を実施	(第4章4(2)③に同じ)
・市議会防災体制等整備特別委員会で「横須賀市災害廃棄物等処理計画(案)」の概要説明。 ・横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市、鎌倉市、逗子市、大和市、町田市の8市による「災害時における廃棄物処理等に関する8市連携相互応援協定」の締結に向けての意見交換会に参加。 ・地震など大規模災害時の心がけチラシ配布(23,323枚) ・地震等大規模災害時における仮設トイレの設置等に関する協定(湘南環浄サービス株)	○	予定通り実施	・「横須賀市災害廃棄物等処理計画」は平成25年度中に策定予定。 ・「災害時における廃棄物処理等に関する8市連携相互応援協定」については、現在協議継続中。地震等大規模災害時に不足が見込まれる仮設トイレの確保が期待できる。
・パネル展開催 9カ所、警察との合同パトロールの実施 12回、ホスター掲出、移動式監視カメラ活用 ・巡回調査等 延べ28,190カ所、処理量 81.33トン ・不法投棄防止対策として夜間監視パトロールを実施(1日間) ・ごみ集積所及び不法投棄重点監視地域の夜間監視パトロールの実施 331カ所 ・不法投棄多発地域への環境ポスターの掲出5カ所	○	予定通り、継続的に実施	不法投棄重点監視地域、夜間監視パトロール及び排出指導を行い、不法投棄の未然防止や不適正な排出状況の改善に努めた。
・ごみゼロ啓発キャンペーン(5月) ・年末年始キャンペーン(12月) ・巡回回数 225回 喫煙中止件数 470件	○	予定通り、継続的に実施	広報紙やキャンペーン等による啓発を行い、吸い殻を含めたポイ捨てごみ量は減少している。また、地域団体が主体となって路上喫煙自粛の啓発活動を行った。
・(公財)かながわ海岸美化財団実施の海浜地清掃 178,642kg(ごみ等回収実績)	○	予定通り、継続的に実施	美化財団による自然海岸の定期清掃を行った。
受入内規の見直し(事業系不燃ごみの規制)	○	予定通り実施	排出処理禁止物について、各施設の実態に沿って追加検討した。
8件(延べ11件)について、県・国に制度改善要望を提出	△	予定通り実施	県市長会、全都清などを通じ、減量化・資源化に係る要望を継続

(注) 評価基準 ○:実施している又は実施した。 △:一部実施している又は一部実施した。 ×:実施していない。

総合評価
<p>平成23-24年度事業実績から見ると、総体的にはごみの総排出量は予定どおり減少推移しているが、資源化量と資源化率は目標量(率)に向けた傾向を示していないため、引き続きその推移を注視する必要がある。</p> <p>ごみ処理単価については、ごみ量と人口が減少していく一方で、南処理工場やリサイクルプラザの施設整備費等がかさんでいるため、各経費を押し上げる形となっていると思われる。引き続き経費削減の努力が求められる。</p>

◎ ごみ処理実績について

1 排出量

(1) 種類別排出量

単位：トン

区分	年度					24年度対前年度比較	
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減量	増減割合
燃せるごみ	105,004	101,881	100,068	98,616	98,814	198	0.2%
不燃ごみ	6,085	6,141	6,406	6,506	6,324	△ 182	△ 2.8%
資源ごみ	17,625	17,001	16,619	16,285	15,965	△ 320	△ 2.0%
缶・びん・ペットボトル	7,842	7,588	7,513	7,375	7,260	△ 115	△ 1.6%
容器包装プラスチック	9,658	9,289	8,984	8,790	8,593	△ 197	△ 2.2%
乾電池	106	105	108	109	101	△ 8	△ 7.3%
その他	19	19	14	11	11	0	0.0%
粗大ごみ	3,001	3,119	3,331	3,285	3,163	△ 122	△ 3.7%
小計	131,715	128,142	126,424	124,692	124,266	△ 426	△ 0.3%
集団資源回収	32,764	30,604	29,808	29,277	28,521	△ 756	△ 2.6%
合計	164,479	158,746	156,232	153,969	152,787	△ 1,182	△ 0.8%

注) 資源ごみの、缶は缶や金属素材、びんはガラス製品、ペットボトルはプラスチック原料等、容器包装プラスチックは化学原料等に、紙類は再生紙に再利用されている。

(2) 収集等形態別排出量

単位：トン

区分	年度					24年度対前年度比較	
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減量	増減割合
定日収集	91,551	90,525	89,198	88,021	87,414	△ 607	△ 0.7%
燃せるごみ	70,817	69,902	68,312	67,239	66,835	△ 404	△ 0.6%
不燃ごみ	5,462	5,548	5,753	5,901	5,727	△ 174	△ 2.9%
缶・びん・ペットボトル	7,401	7,290	7,253	7,134	7,055	△ 79	△ 1.1%
容器包装プラスチック	7,871	7,785	7,880	7,747	7,797	50	0.6%
許可収集	27,687	26,313	26,202	26,028	26,260	232	0.9%
乾電池収集	106	105	108	109	101	△ 8	△ 7.3%
粗大ごみ収集等	1,259	1,229	1,310	1,255	1,216	△ 39	△ 3.1%
臨時収集	874	997	945	908	887	△ 21	△ 2.3%
直接搬入	10,238	8,973	8,661	8,371	8,388	17	0.2%
小計	131,715	128,142	126,424	124,692	124,266	△ 426	△ 0.3%
集団資源回収	32,764	30,604	29,808	29,277	28,521	△ 756	△ 2.6%
合計	164,479	158,746	156,232	153,969	152,787	△ 1,182	△ 0.8%

2 処分量（処理施設搬入量）

単位：トン

区分	年度					24年度対前年度比較	
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減量	増減割合
焼却施設	107,776	104,760	103,160	101,717	101,734	17	0.0%
減容固化施設	6,085	6,141	6,406	6,506	6,324	△ 182	△ 2.8%
資源化施設	23,330	22,589	22,097	21,678	21,302	△ 376	△ 1.7%
粗大処理施設	3,014	3,133	3,348	3,306	3,185	△ 121	△ 3.7%
直接資源化	27,059	25,016	24,330	23,884	23,184	△ 700	△ 2.9%
合計	167,264	161,639	159,341	157,091	155,729	△ 1,362	△ 0.9%

注） 資源化施設処分量には、リサイクルプラザに搬入される集団資源回収（段ボール、紙パック、その他の紙）を含む。

3 資源化量

単位：トン

区分	年度					24年度対前年度比較	
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減量	増減割合
リサイクルプラザ	22,434	21,861	21,478	21,142	20,836	△ 306	△ 1.4%
集団資源回収	26,942	24,899	24,215	23,770	23,079	△ 691	△ 2.9%
焼却灰スラグ化ほか	12,020	9,815	10,280	8,133	7,493	△ 640	△ 7.9%
粗大金属ほか	348	354	338	320	299	△ 21	△ 6.6%
合計	61,744	56,929	56,311	53,365	51,707	△ 1,658	△ 3.1%

注） 集団資源回収のうち段ボール、紙パック、その他の紙はプラザの資源化を含む。

4 資源化率

区分	年度					24年度対前年度比較	
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減量	増減割合
資源化率	37.8%	35.9%	36.0%	34.7%	33.8%	△ 0.9%	-
県内平均資源化率	24.9%	24.5%	24.5%	24.7%	-	-	-
全国平均資源化率	20.3%	20.5%	20.8%	20.4%	-	-	-

注） 資源化率（%）＝【資源化量】÷【排出量合計（集団資源回収量を含む）】×100

5 1人1日排出量

単位：グラム

区分	年度					24年度対前年度比較	
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減量	増減割合
集団回収を除く	843	822	814	804	809	5	0.6%
（外国人住民を含む排出量）	-	-	-	-	800	△ 4	△ 0.5%
集団回収を含む	1,053	1,018	1,005	992	995	3	0.3%
（外国人住民を含む排出量）	-	-	-	-	984	△ 8	△ 0.8%

【参考】

区分	年度				
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
人口（日本人）（人）	427,960	427,049	425,730	423,864	420,811
外国人住民を含む人口（人）	-	-	-	-	425,343
世帯数（世帯）	183,570	184,897	185,829	186,430	188,733

注） 人口及び世帯数は10月1日現在の住民基本台帳による。法改正により24年度から外国人住民を含む。